

事業概要

(平成16年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

I 年次概要	1
1 平成16年度の主な動き	1
2 資料・利用	1
3 事業	2
II 図書館資料	2
1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図 書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) AV資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	4
III 利用の状況	4
1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く。）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 マルチメディア利用等	7
(1) 利用者数	
(2) 貴重書データベース閲覧ベスト10	
(3) CD-ROM閲覧ベスト10	
10 複写利用	7
11 館外からのホームページアクセス件数	7

IV	京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）の状況（17年4月1日現在）	8
V	事業その他	9
1	連絡協力車の運行	9
	（1）搬送の内訳	
	（2）搬送コース	
2	図書館事業等	10
	（1）読書週間記念事業	
	（2）子ども読書活動の振興	
	（3）図書館・読書施設等職員研修の実施	
VI	組織及び職員数（17年4月1日現在）	10
VII	経費	11
VIII	施設の概要等	11
IX	沿革	12

I 年次概要

1 平成16年度の主な動き

京都府総合目録ネットワーク（K-Libnet）は、府内38市町村が参加しており、参加館合計は47館となった。蔵書データを提供するA参加館も2館増加して33館となり、総データ件数は約369万件となった。府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借冊数は33,287冊となり、13年度の19,622冊、14年度の25,631冊、15年度の27,211冊を順調に上回り、相互協力システムが着実に発展している。

平成16年4月1日から丹後6町の合併により京丹後市が誕生し、京丹後市立峰山図書館、あみの図書館と4図書室となった。また、夜久野町中央公民館図書室は、施設も新たに夜久野図書室となった。なお、台風23号では京都府に甚大な被害をもたらした。特に、中部以北の図書館（読書施設）において、施設・図書などの被災があった年でもある。

9月9日には、同志社大学今出川キャンパスにおいて、「図書館アップデートPART I」をテーマに第13回京都図書館大会が開催され、午前には、国立国会図書館 南亮一氏から「図書館サービスと著作権」と題して基調講演があり、午後には、「図書館アップデートPART I～著作権をめぐる～」をテーマにシンポジウムが開催され、各館種からの報告と交流協議が行われた。

2 資料・利用

(1) 資料数

平成16年度中の資料収集については、購入図書、寄贈図書等を17,918冊受け入れ、蔵書数は801,704冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、241,585冊相当あり、総計の蔵書数は1,043,289冊である。

(2) 個人貸出

ア 当館直接貸出

個人貸出は、総数で延べ84,067人、209,098冊である。

イ 他館経由貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く。）は15,085冊、他府県の公立図書館等への貸出は721冊であり、総数15,806冊である。

ウ 市町村への一括貸出

府内の図書館未設置町村を支援するための貸出は、長期貸出が68,000冊、貸出文庫が59,078冊であり、総計で127,078冊である。

3 事業

(1) 連絡協力車

府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借を円滑に行うため、連絡協力車が毎週1回全市町村を巡回し、延べ248回の運行により、33,799冊の図書を運搬した。また、毎月1回、府立図書館職員が連絡協力車に同乗し、運営相談等に応じた。

(2) 図書館事業

子ども読書活動の推進に関する法律により定められた子ども読書の日（4月23日）に合わせて、子ども読書絵てがみコンテストを実施し、4月23日から5月7日まで京都文化博物館において作品を展示したほか、府内19市町村において巡回展示を行った。

読書週間記念事業としては、10月27日（水）に「文人としての竹久夢二」と題して府民の方を対象に講演会を開催した。

II 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数

図書数801,704冊、逐次刊行物241,585冊（図書換算数）、総資料数1,043,289冊

年間収集資料数 図書・AV資料 17,918冊（点）

逐次刊行物 423タイトル（購入分のみ）

2 図書

(1) 資料数

（単位：冊）

区 分	16年度受入冊数				16年度末 図書数	うち 児童書
	購 入	寄 贈	その他	計		
館内閲覧・個人貸出用	11,831	3,129	171	15,131	654,286	46,322
市町村支援用	長期貸出				68,000	85,946
	貸出文庫	2,773	14	2,787	79,418	
	計	2,773	14	2,787	147,418	
合 計	14,604	3,143	171	17,918	801,704	132,268

(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の種類別数

(単位：冊，%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	26,362	4.0
1 哲 学	31,007	4.7
2 歴 史	61,305	9.4
3 社 会 科 学	127,753	19.5
4 自 然 科 学	36,765	5.6
5 技 術	41,968	6.4
6 産 業	31,159	4.8
7 芸 術	37,877	5.8
8 言 語	10,953	1.7
9 文 学	123,586	18.9
小 計	528,735	80.8
児 童 書	46,322	7.1
そ の 他	79,229	12.1
合 計	654,286	100.0

(3) AV資料・障害者用資料

AV資料

区 分	16年度末タイトル数(点数)
C D	512 (653)
C D - R O M	896 (1,019)
D V D	815 (815)
D V D - R O M	7 (7)
ビデオテープ	3,096 (3,107)
カセットテープ	881 (2,704)
マイクロフィルム	118 (6,699)
マイクロフィッシュ	3 (3,729)
計	6,328 (18,733)

障害者用資料

区 分	16年度末タイトル数(点数)	摘 要
大活字本	1,948 (1,948)	
点字図書	339 (1,453)	
デイジー図書	100 (100)	
テープ図書	881 (2,704)	「AV資料」の「カセットテープ」の再掲

(注)「大活字本」以外は、(2)「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	13	410	423
既存受入タイトル数	87	9,475	9,562

III 利用の状況

1 開館日数 273日

2 入館者数 332,495人(1日平均1,218人)

3 登録者数 8,247人

<累計47,673人(京都市内82.9%、その他地域8.5%、他府県8.6%)>

4 個人貸出(利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ84,067人(1日平均308人)

(2) 貸出図書数 209,098冊(1日平均766冊)

(3) 借受提供(他の図書館等から資料を借り受けて利用者へ提供)

(単位:冊)

借 受 先			借 受 冊 数
府 内	市町村図書館等(①)	K-Libnetによる借受け	2,020
		FAX版WANTEDによる借受け	41
		計	2,061
府 外	国立国会図書館(②)		84
	他府県立図書館(③)		526
	他府県内市町村立図書館等(④)		79
	計		689
合 計			2,750

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

亀岡市立図書館(178)、八幡市立八幡市民図書館(167)、長岡京市立図書館(155)、宇治市中央図書館(154)、精華町立図書館(132)、山城町立図書館(94)、向日市立図書館(93)、京丹後市立あみの図書館(90)、木津町中央図書館(88)、久御山町立図書館(87)、京田辺市立中央図書館(80)、京都学園大学図書館(79)、井手町立図書館(77)、宮津市立図書館(76)、宇治田原町立図書館(65)、

加茂町立図書館(60)、園部町中央図書館(59)、綾部市図書館(57)、遊youひよし図書室(54)、岩滝町立図書館(52)、舞鶴市立東図書館(47)、福知山市立図書館(41)、舞鶴市立西図書館(41)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(74)、関西館(5)、国際子ども図書館(5)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

大阪(154)、宮城(34)、滋賀(27)、和歌山(23)、北海道(17)、千葉(17)、神奈川(17)、愛知(16)、三重(15)、徳島(13)、長崎(13)、岐阜(12)、熊本(10)、東京(9)、秋田(8)、富山(8)、鳥取(7)、青森(6)、群馬(6)、福井(6)、広島(6)、香川(6)、山口(6)、茨城(5)、兵庫(5)、高知(5)、大分(5)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

横浜市(20)、神戸市(13)、名古屋市(12)、福岡市(11)、千葉市(5)、堺市(4)、大津市(3)、箕面市(3)

5 図書館等への貸出(一括貸出を除く。)

(単位:冊)

貸 出 先		貸出冊数	摘 要
府 内	市町村立図書館等(※)	13,972	39市町村他
	学校図書室	1,113	府立高校16校他
	計	15,085	
府 外	他府県公立図書館・大学	721	
合 計		15,806	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位:冊, %)

地域区分	貸出冊数	百分比
京都市	834	6.0
乙訓地域	1,429	10.2
山城地域	4,651	33.3
南丹地域	2,374	17.0
中丹地域	2,275	16.3
丹後地域	2,387	17.1
府立総合資料館	20	0.1
ライトハウス	2	0.0
合 計	13,972	100.0

6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸出冊数	摘 要
長期貸出(①)	68,000	図書館未設置13町村(すべて継続貸出)
貸出文庫(②)	59,078	
合 計	127,078	

(①) 長期貸出の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	6,000	笠置町	5,000	南山城村	5,000	八木町	6,000
日吉町	5,000	丹波町	6,000	瑞穂町	5,000	和知町	5,000
三和町	5,000	夜久野町	5,000	野田川町	6,000	加悦町	5,000
伊根町	5,000						

(②) 貸出文庫の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	602	宇治市	1,000	城陽市	1,916	山城町	571
笠置町	200	南山城村	9,198	美山町	5,221	日吉町	980
福知山市	1,085	綾部市	2,010	舞鶴市	660	三和町	3,015
夜久野町	360	大江町	300	岩滝町	4,999	伊根町	1,500
京丹後市	25,461						

7 調査相談

(単位：件)

区 分	相談件数	摘 要
所蔵調査	2,211	
調査相談	4,085	
マルチメディア相談	281	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	74	
合 計	6,651	

8 対面朗読サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	5	4	4	8	6	5	9	8	7	7	7	4	74
実施時間	10	8	8	16	12	10	18	16	14	14	14	8	148

9 マルチメディア利用等

(1) 利用者数

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	22,172	81
CD-ROM端末	2,497	9
AVブース利用	6,939	25
マイクロフィルム	855	3
合計	32,463	

(2) 貴重書データベース閲覧ベスト10

あつもり(279)、花洛細見圖(251)、新撰組往時實戦談書(242)、小笠原矢傳書(237)、土蜘蛛之草紙(234)、御造営記(211)、京童(197)、琵琶湖疏水図誌(193)、諸家傳(190)、四鳴蟬(188)

(注) ()内はインターネットを含むアクセス回数で総回数は9,793回

(3) CD-ROM閲覧ベスト10

ア 回数ベスト10

京都新聞(2,137)、朝日新聞見出しデータベース(670)、毎日新聞(579)、ハイパー京都ガイド(389)、読売新聞(319)、マルチメディア音楽図鑑(315)、日本経済新聞(299)、キネマ旬報シネマデータベース(232)、世界歴史文化年表(208)、雑誌記事索引(166)

(注) ()内は利用回数で総回数は11,216回

イ 時間ベスト10

京都新聞(637)、朝日新聞見出しデータベース(178)、新編一国歌大観(102)、京の歳時百科(98)、朗読で知る日本文学へのいざない(78)、マルチメディア音楽図鑑(75)、昭和の街角—愛媛県歴史文化博物館(72)、読売新聞(70)、ハイパー京都ガイド(68)、毎日新聞(62)

(注) ()内は視聴時間数で総時間数は2,821時間

10 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	299,773	白黒298,217、カラー1,556
CD-ROM	2,944	
貴重書データベース	0	
マイクロフィルム	5,991	
合計	308,708	

11 館外からのホームページアクセス件数

約224,308件

Ⅳ 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (17年4月1日現在)

府内38市町村中37市町村の参加を得て、データ提供館は33館、総データ件数は約369万件となった。

(単位：件)

A 参 加		B 参 加
参 加 館 (データ提供館)	デ ー タ 件 数	参 加 館 (データ検索館)
京都府立図書館	588,953	城陽市立図書館
京都府立総合資料館	226,512	大山崎町中央公民館図書室
向日市立図書館	125,869	和束町体験交流センター図書室
長岡京市立図書館	196,074	笠置町中央公民館図書室
宇治市中央図書館	288,398	南山城村教育委員会図書室
久御山町立図書館	94,363	瑞穂町山村開発センター図書室
八幡市立八幡市民図書館	223,756	和知町ふれあいセンター図書室
京田辺市立中央図書館	264,362	大江町立図書館
井手町図書館	65,649	伊根町教育委員会図書室
宇治田原町立図書館	58,165	京丹後市立図書館大宮図書室
木津町中央図書館	106,987	京丹後市立図書館弥栄図書室
山城町立図書館	66,050	京丹後市立図書館丹後図書室
精華町立図書館	114,392	京丹後市立図書館久美浜図書室
加茂町立図書館	58,234	京都ライトハウス情報ステーション
美山町立図書館	15,055	
亀岡市立図書館	184,769	
園部町立園部中央図書館	53,389	
八木町立郷土資料館図書室	25,988	
丹波町中央公民館図書室	19,596	
遊 you ひよし図書室	39,834	
福知山市立図書館	69,055	
舞鶴市立東図書館	87,658	
舞鶴市立西図書館	74,175	
綾部市図書館	66,409	
三和町立図書室	13,476	
夜久野図書室	17,967	
宮津市立図書館	100,682	
加悦町中央公民館図書室	12,343	
岩滝町立図書館	37,815	
野田川町中央公民館図書室	13,956	
京丹後市立峰山図書館	52,035	
京丹後市立あみの図書館	40,429	
京都学園大学図書館	289,959	
33 館	3,692,354	14 館

V 事業その他

1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集を行うため、次の5コースにより39市町村、46施設へ毎週1回、合計248回の運行を実施した。

(1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館と市町村との間の搬送	16,033
市町村と市町村との間の搬送	17,299
寄贈図書の搬送	467
合 計	33,799

(2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→亀岡市立図書館→八木町立郷土資料館 →園部町立園部中央図書館→遊youひよし図書室→丹波町中央公民館 →瑞穂町教育委員会→和知町立ふれあいセンター→美山町立図書館 →京北町文化センター→京都ライトハウス情報ステーション →京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館 →精華町立図書館→木津町中央図書館→加茂町立図書館→和東町体験交流センター →南山城村教育委員会→笠置町中央公民館→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館 →山城町立図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館 →長岡京市立図書館→向日市立図書館→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→大江町立図書館 →福知山市立図書館→三和町図書室→京都府立図書館
E コース	京都府立図書館→加悦町中央公民館→野田川町中央公民館→宮津市立図書館 →岩滝町立図書館→伊根町本庄地区公民館→京丹後市立図書館丹後図書室 →京丹後市立あみの図書館→京丹後市立図書館弥栄図書室 →京丹後市立峰山図書館→京丹後市立図書館大宮図書室 →京丹後市立図書館久美浜図書室→夜久野町教育文化会館→京都府立図書館

2 図書館事業等

(1) 読書週間記念事業

読書週間を記念して、10月27日に「文人としての竹久夢二」と題して記念講演会を開催し、約70名の府民の参加を得た。歌人として多方面に活躍されている同志社女子大学教授の安森敏隆氏が、夢二の知られざる一面に光を当て、大衆文藝の発展に貢献したマルチアーティストに迫る講演であり、参加者は興味深く聞き入っていた。

(2) 子ども読書活動の振興

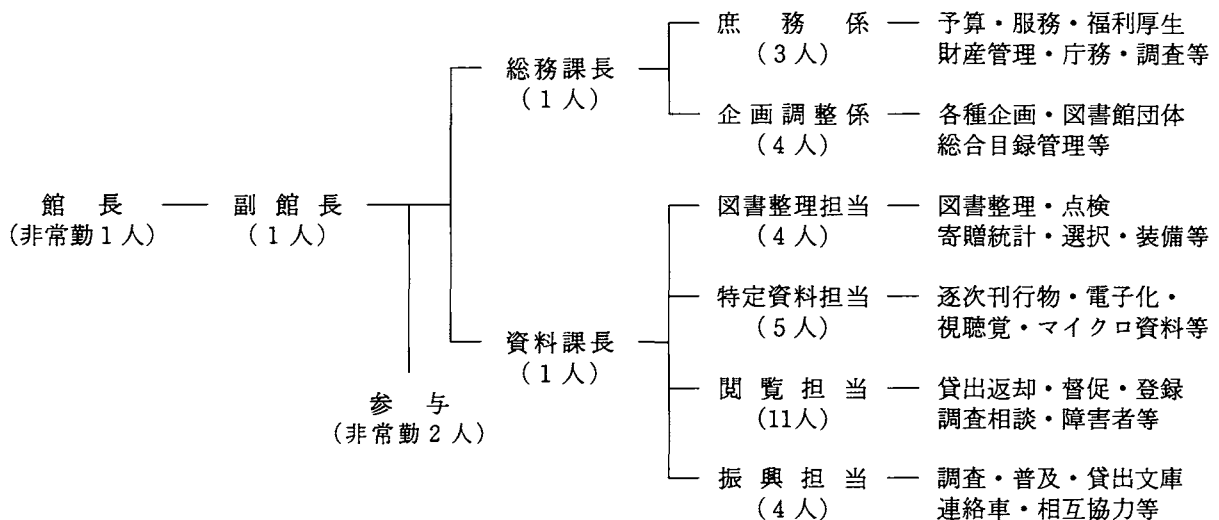
平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、毎年4月23日が「子ども読書の日」と定められた。この日にあわせて、子どもたちの読書活動を推進するきっかけとなり、生涯にわたり読書に親しむ習慣が身につくことを期待し、「子ども読書絵てがみコンテスト」を京都府図書館等連絡協議会との共催で実施した。4月23日から5月7日まで京都文化博物館において作品を展示したほか、府内19市町村において巡回展示を行った。

(3) 図書館・読書施設等職員研修の実施

府内図書館等職員を対象に南部・中部・北部の3会場で、5月27日、6月24日、7月22・23日に研修会を開催し、実務研修や児童サービスについて綾部市図書館の生駒氏実践発表及び交流協議を行い、職員相互の交流を図った。

VI 組織及び職員数（17年4月1日現在）

常勤職員34人，非常勤職員11人（館長1人・参与2人・再任用2人・嘱託6人）



VII 経 費

平成16年度における経費は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	318,449	
	資 料 費	図 書	48,894
		逐次刊行物	6,106
		計	55,000
	そ の 他	196,490	
	計	569,939	
事 務 局 費	人 件 費	1,842	
	そ の 他	15	
	計	1,857	
合 計		572,096	

VIII 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ http://www.library.pref.kyoto.jp
開 館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740㎡
延床面積	7,478㎡ (地下2階2,296㎡、地下1階2,049㎡、1階1,129㎡) (2階746㎡、3階701㎡、4階557㎡)
建 築 費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC13台、CD-ROM閲覧端末14台、外部データベース閲覧端末2台、インターネット閲覧端末10台、貴重書データベース閲覧端末3台、ビデオブース6台、オーディオブース6台
一 般 開 架	1,710㎡。10万冊の開架が可能
書 庫	1,776㎡。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能
開 館 時 間	火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日と重なる場合は、その翌日) ・毎月第4木曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日 ・年末年始(12月28日～翌年1月4日) ・特別整理期間

IX 沿 革

- 明治31年(1898) 4月 府立京都図書館御苑内創立
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館(貸出文庫)制度開始
- 37年(1904) 3月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4月 児童室開設
- 39年(1906) 6月 館外貸与規則制定告示
- 〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2月 新館竣工
- 〃 3月 京都府立京都図書館規則告示
- 〃 4月 新館開館
- 大正5年(1916) 5月 湯浅吉郎館長退職
- 〃 10月 北畠貞顕館長就任
- 8年(1919) 1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3月 児童室閉鎖
- 昭和3年(1928) 3月 帯出規程告示
- 〃 4月 個人貸出実施
- 〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 8年(1933)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北畠貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
- 〃 8月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4月 児童室を元貴賓室に移転
- 〃 9月 読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
- 24年(1949) 4月 読書相談開始
- 〃 6月 河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
- 25年(1950) 2月 伏見分館開館(伏見信用金庫2階)
- 〃 3月 巡回図書館(貸出文庫)廃止
- 〃 6月 宮津地方分館開館(宮津町役場内)

- 昭和25年(1950) 7月 綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び
峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
- 〃 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年(1951) 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年(1952) 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)
北桑田地方分館(京北町下中)及び
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年(1953) 4月 宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
本館 月曜日休館を実施
- 29年(1954) 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館移転(木津小学校内)
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年(1955) 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年(1956) 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年(1957) 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 宮津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施
- 37年(1962) 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年(1963) 3月 本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)
- 〃 10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)
相馬利雄館長就任
- 〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室

- 昭和39年(1964) 1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間・土曜午後再開(9時まで) 貸出室設置
児童室館外貸出実施 土曜日開室
宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
伏見分館館外貸出実施
- 〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年(1965) 1月 中京分館仮移転(京一商同窓会館)
- 〃 7月 児童室に母親文庫設置
- 〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- 〃 11月 中京分館移転(京都府中京庁舎内)
- 41年(1966) 9月 綾部地方分館閉館
- 〃 11月 園部地方分館閉館
自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始
- 42年(1967) 7月 本館修繕工事
- 〃 9月 貸出室移転再開
- 44年(1969)12月 本館夜間閉館時間(7時)に変更
- 45年(1970) 8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出
岩崎彰之助館長就任
- 46年(1971) 8月 宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ
ン方式に切替
- 47年(1972) 4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
- 48年(1973) 4月 上京分館館外貸出実施
- 〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年(1974) 4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年(1975) 3月 木津地方分館閉館
身体障害者用 便所・スロープ新設
宮本英男館長退職
- 〃 4月 布村忠雄館長就任
- 〃 5月 本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設) 内装工事
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年(1976) 4月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5月 上京分館閉館(51.5.8)

- 昭和51年(1976) 6月 京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
 “ 7月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3月 本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備)
 本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3月 本館書庫の改修工事
 “ 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足
 本館自習室を閉鎖
- “ 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了
 “ 8月 北桑田地方分館仮移転(京北農業協同組合弓削支所内)
 “ 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
 「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3月 北桑田地方分館閉館(55.3.31)
 “ 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任
 峰山地方分館移転(峰山町中央公民館内)
- 56年(1981) 4月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
 “ 9月 移動図書館用電動集密書架設置
 “ 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
 “ 7月 障害者サービス(対面朗読)実施
- 58年(1983) 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施
 “ 3月 「京都府の公共図書館」刊行
 伏見分館 ブックポスト設置
- “ 6月 図書館協力貸出本格実施
 “ 7月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始(2コース)
- 60年(1985) 7月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館
 のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
 “ 12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
 12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施
 伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館閉館(63.3.31)
- 63年(1988) 3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989) 7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
 “ 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任

- 平成元年(1989)10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 6月 機構改革により本館は4課組織に
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンターのサービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
- 6年(1994)3月 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
- 〃 5月 柴田 實 館長退任
- 〃 6月 高木多喜男館長就任
- 7年(1995)2月 阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
- 〃 5月 本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
- 〃 8月 連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
- 〃 9月 一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
- 〃 12月 京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
- 8年(1996)3月 平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
- 〃 〃 高木多喜男館長退任
- 〃 4月 五十嵐一郎館長就任
- 〃 9月 新府立図書館建設基本計画の概要を発表
- 〃 〃 9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新

- 築整備するための基本設計費、現存建物記録調査費及び壁面保存の構造診断調査費等を計上
- 平成9年(1997)3月 平成9年度当初予算に実施設計費、補強設計費、補強工事費、情報ネットワークシステム詳細設計費、蔵書データ電算入力費、埋文調査費、解体設計費・解体工事費等を計上
- 〃 〃 宮津・峰山地方分館の閉館(9.3.31)
- 〃 4月 新館整備のため本館を休館(9.4.1～)
- 〃 9月 本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了
- 10年(1998)3月 府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了
- 〃 〃 平成10年度当初予算に、新館建設工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、埋文調査費等を計上
- 〃 〃 五十嵐一郎館長退任
- 〃 4月 西山隆史館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 5月 西山隆史館長退任
- 〃 6月 小山雄一館長就任
- 〃 7月 総合資料館蔵書との一体的データ化作業のため、図書館職員3名を併任発令
- 〃 9月 本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門学校へ)
- 〃 11月 新府立図書館新築工事起工式
- 11年(1999)2月 平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催(主催:文部省、京都府教育委員会他)
- 2月15日～2月19日 会場:京都府総合教育センター
- 〃 3月 平成11年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費等を計上
- 〃 6月 「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用
- 12年(2000)3月 平成12年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、備品整備費等を計上
- 〃 5月 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 〃 10月 新館竣工
- 〃 11月 仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化
- 〃 〃 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)
- 13年(2001)2月 仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
- 〃 3月 中京分館閉館

- 平成13年(2001) 3月 小山雄一館長退任
- 〃 4月 中里隆憲館長就任
- 〃 〃 府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、資料課:4担当)を施行(1日)
- 〃 〃 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)
- 〃 5月 「京都府立図書館個人貸出規程」、「京都府立図書館対面朗読等規程」、「京都府立図書館複写取扱規程」、「京都府立図書館貴重書データベース利用等規程」、「京都府立図書館外部有料データベース利用等規程」、「京都府立図書館機関貸出規程」、「京都府立図書館貸出文庫規程」、「京都府立図書館利用規程」及び「京都府立図書館連絡協力車事業規程」を施行(7日)
- 〃 〃 開館式(10日)、一般開館(11日)
- 〃 〃 京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日)
- 〃 〃 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
- 〃 6月 京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
- 14年(2002) 4月 「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
- 15年(2003) 2月 館内完全分煙の実施
- 16年(2004) 3月 中里隆憲館長退任
- 〃 4月 津守俊一館長就任

事業概要（平成16年度のまとめ）

平成17年（2005）9月発行

発行者 京 都 府 立 図 書 館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075)762-4655(代)

FAX (075)762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>

印 刷 株 式 会 社 大 気 堂

TEL (075)361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。